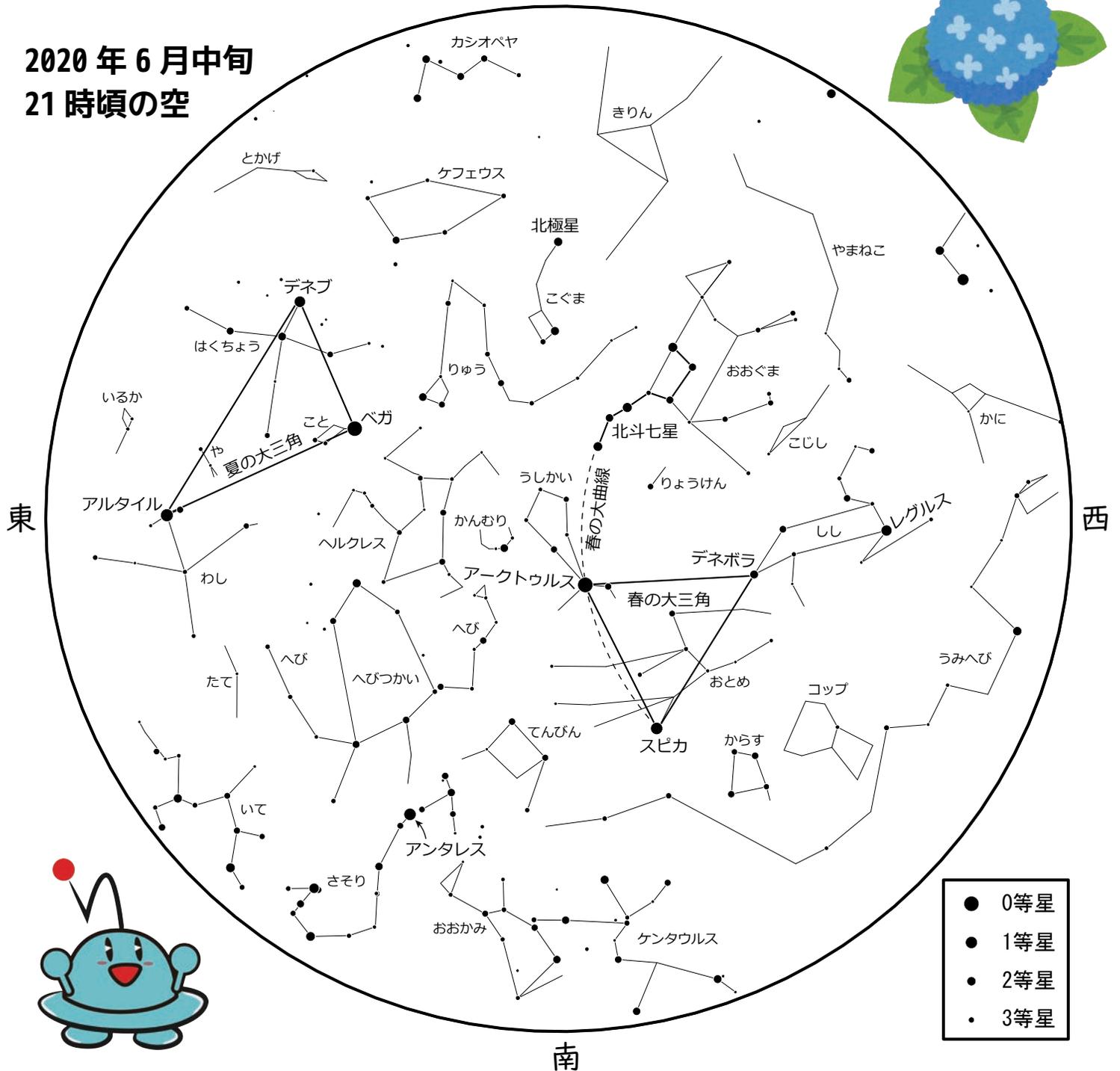


# 阿南市科学センター

# 6月の星空案内

北

2020年6月中旬  
21時頃の空



梅雨の時期は雨が多く、星空が見える機会は少なくなります。ただ、雨は空気中のチリやホコリを洗い流してくれるので、雨上がりの星空は透明度が高く、とてもきれいな星空を見ることができます。梅雨の時期は、雨上がりの星空にも注目してみましょう。

まだ夏本番ではありませんが、夏の一等星を探してみましょ。まず、南の空には夏を代表する星座であるさそり座があります。さそりの心臓で輝く赤い一等星は、アンタレスです。近くには、他に明るい星がないため簡単に見つけられます。東の空には3つの一等星、ベガ(こと座)・アルタイル(わし座)・デネブ(はくちょう座)があります。この3つの一等星を結んでできる大きな三角形が夏の大三角です。一等星は明るいので、市街地でも見つけることができます。ぜひ、探してみましょ。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催 / 19時～, 20時～, 21時～】  
阿南市科学センター 電話 0884-42-1600 <http://ananscience.jp/science/>

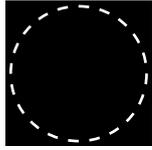
# 6月の月の満ち欠けと惑星について



満月  
6日



下弦  
13日



新月  
21日



上弦  
28日

## 6月の天体観望会で月が見える日時は？



6/6(土)・・・21時の回で観察可能



6/27(土)・・・全ての回で観察可能

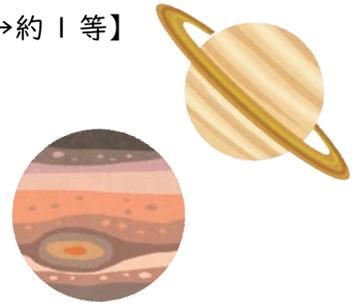
水星：上旬、日没後に西のごく低空で観察可能。4日に東方最大離角。【約0等→約1等】

金星：下旬、夜明け前に東の低空で観察可能。【約-4.5等】

火星：夜明け前、南東の空で見える。【約0等→約-0.5等】

木星：深夜から夜明け前にかけて、南～南東の空で見える。【約-2.5等】

土星：深夜から夜明け前にかけて、南～南東の空で見える。【約0.5等→約0等】



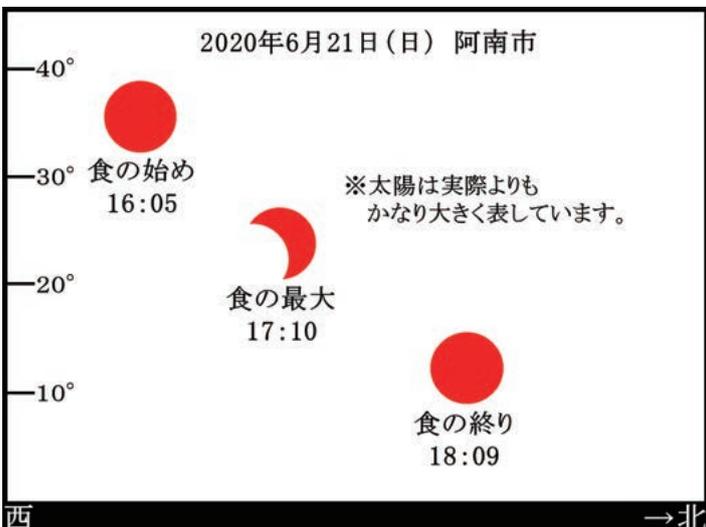
## 注目の天文現象など

### 【部分日食】

昨年は部分日食が2回（1/6と12/26）も見られた当たり年でしたが、太陽が欠けた面積は阿南市の場合、最大で約25%前後でした。今年も6月21日（日）に部分日食を見ることができ、阿南市では最大で約46%欠けた太陽を見ることができます。去年よりも大きく欠けるので必見です。

昨年の部分日食、阿南市では2回とも天気に恵まれませんでしたが、今年も梅雨の時期のため、天気が心配ではありますが、今年の日食を見逃すと、阿南市内では2030年6月1日まで観察しやすい日食を見る機会がありません。

阿南市科学センターでは、6月21日（日）の16時～17時30分にかけて、部分日食観望会（申込不要・無料）を行います。興味のある方は、ぜひお越しください。



部分日食の推移。

### 【リング状星雲 M57】

6月になると、東の空にこと座が昇ってきます。こと座といえば七夕伝説で有名な織姫星（ベガ）がありますが、それだけではありません。写真に撮ると、まるで彦星が織姫に贈った結婚指輪のようにも見えるリング状のM57という星雲があります。

この天体は惑星状星雲とも呼ばれ、太陽と同じくらいの質量の恒星（自ら光を出している星）が寿命を迎えてガスを放出した姿です。M57は、その見た目からドーナツ状星雲とも呼ばれています。将来、太陽が寿命を迎えると、M57と同じように惑星状星雲になると考えられています。

阿南市科学センターにある四国最大の113cm望遠鏡で見ると、リング状の形が分かります。興味のある方は、観望会でリクエストしてみてください。



リング状星雲 M57。  
(2019年9月2日撮影)